

## 「交通政策に関する基本方針の素案」について

### 1 意見公募期間

令和5年8月1日（火）から令和5年8月31日（木）まで

### 2 計画の公開場所

市ホームページ、政策推進課、共生社会推進課、長寿応援課、都市計画課、市民サービスステーション柳瀬川駅前仮出張所、いろは遊学館、宗岡公民館、宗岡第二公民館、柳瀬川図書館、いろは遊学図書館総合福祉センター、福祉センター、第二福祉センター、健康増進センター

### 3 意見募集状況

人 数		意 見 件 数
個 人	団 体	
18人	2人	20件

区 分	
◎	意見を反映し、修正・加除（一部を含む）を行ったもの
○	原案のとおりとするもの
△	その他

※複数のご意見をいただいた場合は、市において分類しております。

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
1	<p>①ふれあい号運行事業について、利用が一部の常用的利用者限定されているほか、買い回り、通院、東町停留所を利用した東上線利用など、事業の目的外利用も散見されており、実質的には民業圧迫している。一方で、障がい者に対する代替事業は必要であることから、代替事業実施を前提に廃止に賛成。一部の第二福祉センターお風呂利用者に対する救済処置をどうするか。</p> <p>②デマンド交通事通 運転手不足、ガソリン価格の高騰などありサービス水準を維持できるのか。</p> <p>③代替事業提案（ふれあい号代替事業として）</p> <p>(a) 民間バスにコミュニティバス機能を付加 一定程度の年齢以上の人に、市域、一回100～150円程度の料金を乗車できる（仮）老人バスを発行、民間バスに乗車できるようにする。</p> <p>(b) 素案の新規路線 市役所、総合福祉センター、第二福祉センター、秋ヶ瀬スポーツセンター、遊学館、新設の市民ホール等市の重要施設が本町宗岡地区に集中しているが、館地区からはアクセス手段がないことから、幸町、館地区新規路線の運行を柳瀬川駅経由、本町、宗岡地区方面への東西方向路線として運行する。</p>	<p>①ふれあい号につきましては、運行継続の可能性も含め、さまざまな検討を重ねてまいりましたが、利用者の減少や運行に係る費用の増大等により、今回止む無く廃止の方針とさせていただいたものです。障がいを持つ方に対する代替策としては、総合福祉センター内にある障がい者就労継続支援事業所B型の通所者を対象として、志木市社会福祉協議会による送迎サービスを開始します。その他の方につきましては、デマンド交通の料金見直しといった、他の交通施策を行う中で、必要な措置を進めてまいります。</p> <p>②本市のデマンド交通は、市内で営業しているタクシー会社が保有するすべての車両が、デマンド交通として運行しておりますが、雨の日や暑い日、通院時間帯などは、デマンド交通での利用に限らず一般タクシーの利用も多くなるため、ご不便をおかけすることもあります。こうした点も含め、今後とも良好な運行を継続していただけるようタクシー事業者と定期的な連絡調整を図ってまいります。</p> <p>③</p> <p>(a) ご提案の（仮）老人バスの発行につきましては、現在、民間のバス事業者において65歳以上の方を対象に一定の金額でバスが乗り放題となるサービスを提供していることから、その導入は現時点では考えておりませんが、デマンド交通の料金見直し等により、交通施策の充実に努めてまいります。</p> <p>(b) バス事業者においては、昨今の深刻な運転手不足等により既存路線の維持すら厳しい状況下において新規路線の運行は困難とのことですが、幸町及び館地区につきましては、ご指摘のとおり路線バスが運行していない地域であることから、新規路線を運行していただけるよう、引き続き要望してまいります。</p>	○
2	<p>志木市で子育てをしています。車が運転できないことで不便さをとて感じます。子どもが体調を崩しても、デマンド交通は電話すら通じず、まったく使えません。デマンド交通が充実してくれることを望みます。</p> <p>また、今でも志04-3系統のバスが少ないです。これから子ども達が進学していく上でとても必要なバスであることから、朝だけでなく、日中も多くなってくれることを望みます。</p>	<p>本市のデマンド交通は、市内で営業しているタクシー会社が保有するすべての車両が、デマンド交通として運行しておりますが、雨の日や暑い日、通院時間帯などは、デマンド交通での利用に限らず一般タクシーの利用も多くなるため、ご不便をおかけすることもあります。こうした点も含め、今後とも良好な運行を継続していただけるようタクシー事業者と定期的な連絡調整を図ってまいります。</p> <p>志04-3系統の運行時間の拡大や増便等につきましては、沿線住民の皆様の切実な思いとして受け止め、引き続き運行主体である国際興業株式会社へ要望してまいります。</p>	○

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
3	<p>①ふれあい号運行事業について  廃止を見直していただきたい。  ふれあい号は乳幼児健診の際に使用しています。  現在検討されている代替事業は障がい者向けの事業と有料の事業で、乳幼児健診の際に使用している市民にとっては代替事業とは呼べないことから廃止を見直していただきたい。廃止するのであれば、乳幼児がいる家庭が健康増進センターまで無料で行ける事業を検討後をお願いいたします。乳幼児健診を受けるために交通費が発生する状況になると、少子化に拍車がかかってしまう可能性があります。  また新たな事業については納得ができません。ふれあい号を廃止させたうえで運転免許証を自主返納させるのは、高齢者の交通手段を遮断する政策となっています。  人件費と燃料費を理由にあげるならば、経路を見直したり運行本数を減らすなどして、費用を抑える方法の検討をお願いいたします。</p> <p>②デマンド交通運行事業について  非常に便利で助かっています。  事業を継続いただきありがとうございます。  また、利用料金の見直しを検討していただくということもありがとうございます。  時間帯によっては1時間以上待つことがあります。  また、有料であることから、ふれあい号の代替事業としては利用できません。</p> <p>③シェアサイクル実証実験事業について  たまに利用しています。  事業を継続いただきありがとうございます。</p> <p>④民間路線バス事業に係る経費の一部負担について  志04-3系統の継続については、実現するように対応をお願いいたします。  朝の時間帯の増便に加え、朝は6時～6時30分の間の時間帯を、夜は8時半ごろまでの時間帯の新設を民間バス事業者に要望してください。</p>	<p>①ふれあい号につきましては、利用者の減少や運行に係る費用の増大が課題となっており、運行継続の可能性も含め、さまざまな検討を重ねてまいりましたが、便数を減らした場合でも、大幅な経費の圧縮が望めないこと、現行のルートを変更することで、既存の交通事業者の経営に影響を与えることにより、既存路線の廃止や減便につながる恐れがあることから、今回止む無く廃止の方針とさせていただいたものです。  なお、代替事業につきましては、さまざまな方策を検討した結果、妊婦の方や未就学児なども利用でき、市民の移動手段として有効性の高い本市独自のデマンド交通の利用料金を見直すことが、代替として最良の策であるとの結論に至ったところです。なお、運転免許証自主返納啓発事業につきましては、決して高齢者から運転免許証を取り上げるという意図ではなく、あくまでも運転に不安を感じている高齢者の方が、運転免許証を自主的に返納した際に、交通費を助成するものであり、運転免許証がご自身で不要と判断された方が対象となります。</p> <p>②本市のデマンド交通は、市内で営業しているタクシー会社が保有するすべての車両が、デマンド交通として運行しておりますが、雨の日や暑い日、通院時間帯などは、デマンド交通での利用に限らず一般タクシーの利用も多くなるため、ご不便をおかけすることもあります。こうした点も含め、今後とも良好な運行を継続していただけるようタクシー事業者と定期的な連絡調整を図ってまいります。</p> <p>④志04-3系統の運行時間の拡大や増便等につきましては、沿線住民の皆様の切実な思いとして受け止め、引き続き運行主体である国際興業株式会社へ要望してまいります。</p>	<p>○</p>

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
4	<p>ふれあい号の廃止について 乗車用途に制限があるため、12年住んでいますが、乗車したことはありません。 公民館や福祉センターへ行く、志木駅を横断できる（館や幸町から福祉センターへ行く手段）ことを考えると、住民の利便性を高めるために必要ではと思います。 他の市では、コミュニティバス（運賃100円程度）が運行されており、羨ましく思います。 国際興業バスの柳瀬川駅－志木駅間のバスも廃止になると、より公民館や福祉センターへ行く手段が無くなります。 デマンド交通も年齢制限あり、朝の時間帯は配車が間に合わない、毎日使えるような値段設定になっていません。 高齢者に優しい交通手段を検討お願いします。 館、幸町－宗岡の志木駅を横断できる交通手段があると便利です。運賃100円程度で乗車できるコミュニティバス政策をぜひ考えてください。 もしくは、国際興業バスに志木市内循環バスを運行できるように働きかけてください。</p>	<p>民間の路線バスが通っていない地域では、地域の状況に合わせてコミュニティバスを導入している自治体がありますが、いずれも民間路線と競合しないように配慮した路線を設定した上で、国から運行許可を取得して運行されています。 一方、市域の狭い本市においては既存路線と乗客が重複しないような路線の設定が困難であることも踏まえ、個々の移動需要に合わせて運行できるデマンド交通を実施しているところであります。 なお、路線バスが運行していない上宗岡3丁目地区、館地区・幸町地区への新規路線運行の検討につきましては引き続き民間バス事業者に要望してまいります。</p>	○

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分	
5	全般	<p>素案を見ると、志木市は子育てに冷たい街だと感じます。</p> <p>この素案、私たちが居住しているエリアは非常に不便になるので反対です。ふれあい号も路線バスもなくなり、オンデマンドもほとんど利用できないような状況で、代替策もない状況でこんな案を考えるなんておかしいと思います。ふれあい号だけでも存続してほしいです。</p> <p>わが家は4歳と1歳の子を育てています。子供を連れて宗岡の児童センターに通ったり、予防接種で西原ふれあいセンターに通ったりするの、ふれあい号は大いに活用しています。</p> <p>運転手さんも親切ですし、乗り合わせた高齢の利用者さんとも雑談できるし、そういう意味でまさに「ふれあい号」だな、と感じていました。</p> <p>また、志木の杜からの路線バスは日中の時間帯には運行がありませんので役に立ちません。ふれあい号も路線バスもないということは、この夏の40℃近い猛暑の中、子どもを連れて外出する際には太陽に灼かれ、子供達が熱中症になるリスクも抱えて移動するしかありません。</p> <p>さらに、路線バスとの競合とありましたが、私が居住しているエリアは路線バスもろくにありません。このエリアに居住している市民のことは切り捨てるような印象です。</p> <p>志木市は交通量があるくせに、道も狭く、変に曲がりくねっていて、子どもを連れて歩くのも危ないし、車で走行するにもすごく神経を使うし、交通行政に大きな課題があるのではないのでしょうか。そこも改善してほしいです。</p> <p>今のところ志木市に住んで良かったなと思うことが思いつかないです。経済的に可能なら志木市から転出したいです。</p>	<p>ふれあい号につきましては、利用者の減少や運行に係る費用の増大等により、さまざまな検討を重ねてまいりましたが、廃止の方向で考えざるを得ない状況です。</p> <p>また、志04系統及び志04-2系統の廃止の理由につきましては、運行主体である国際興業株式会社より「現行の小型車両の製造中止等に伴い代替車種による運行を検討したが、同系統のルート上にある狭隘な道路や交差点を安全に運行できる代替車種がないとして、やむを得ず廃止とする判断に至った」との報告を受けたものであります。市としても当該報告を受け、継続の要望や代替手段の検討、協議を国際興業株式会社と重ねてきたところですが、安全な運行を確保できるバス車両がなく、運行の継続はできないとの回答をいただいているところです。</p> <p>こうしたことから、ふれあい号の目的地の施設を利用される方の代替手段につきましては、デマンド交通の料金見直しといった、他の交通施策を行う中で、必要な措置を進めてまいります。</p> <p>また、志04-3系統の運行時間の拡大や増便等についても、利用されている皆様の切実な思いとして受け止め、引き続き運行主体である国際興業株式会社へ要望してまいります。</p>	○

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
6	<p>不便になるので反対です。  高齢になり、転倒リスクがあり自転車に乗るのをやめました。ふれあい号や柳瀬川駅行のバスを利用してます。それがなくなると本当に困ります。志木の杜のバスは日中の時間帯には運行がほとんどありません。土日もほとんどないので私のような高齢者には活用できません。  この案は高齢者の市民のことは考えていない印象です。近くに住んでいる知人もほとんどが高齢になり、自転車をやめたので、バスがないと駅に行くにもひと苦労だと言ってます。少ない年金でタクシーを呼んで乗っていくのは負担です。  高齢になると、定期的に通院することがあります。また、お友達が入院したのでお見舞いに行くこともあります。そういうときに移動手段が歩く以外にないというのは困りますね。</p>		
7	<p>デマンド交通を廃止し、他は現状のまま運行してほしい。</p>		
8	<p>ふれあい号廃止により今後福祉センター（毎月25日位利用している）に行く方法として、徒歩は足が痛いため30分以上歩くのは苦痛。  ・民間バスの場合（片道200円 往復400円で）1か月400円×25日＝10,000円かかるので無理なので一部負担できるのか。市として負担できるのか。  ・彩京のびのびバス（国際興業バス65歳以上の人）6か月で22,000円で買えるので一部負担は可能か。  ・デマンド交通は1回500円往復で1,000円1か月利用すると25,000円で無理。  ・シェアサイクルはスマホを持っていない人が居るので料金の支払方法の検討と、市での費用負担（一部負担等）は可能か。  ・電動三輪車も購入出来るか。  ・個人で自転車を購入した場合も一部負担も可能か。  ・免許返納について今後返納する人もすでに返納したい人も対象にするのか。どのように支給してくれるのか。また、免許なしで移動できる電動キックボード導入費用負担もできるか検討してもらいたい。  ・ふれあいバスの利用者が5人以下と言うなら9人まで乗れる車を市で購入し、市の職員又はアルバイトで運転し、運営できないか。  ・民間バスのルート変更。一部のバスを法務局経由で志木駅までできないのか。  ・福祉センターで風呂を利用している人が減ってくる可能性あり。運動して来る人もいる。減ってくると自宅にこもり、医療費が増える事も考えられるかも。</p>	<p>ふれあい号廃止に伴う代替事業につきましては、あらゆる方策について検討を重ねた結果、近年の高齢化率、要介護認定率とも上昇する現在においては、バス停まで歩き、バスに乗ることも困難な高齢者の方も増加することが予想されることから、皆様の交通手段としては、自宅から病院などの目的地まで、ドアtoドアで行くことができるデマンド交通が、最も使いやすい交通手段であると判断したところです。限られた財源の中で、事業を持続可能なものとするためには、一定の利用料金をご負担いただくことにはなりますが、利用者の負担の軽減につながるよう、利用料金の見直しをしてみたいです。  運転免許証自主返納啓発事業につきましては、今後、運転免許証を返納する方のみだけでなく、一定の期間を定めたくて、すでに返納済の方も対象とすることを検討しています。なお、支給に際しましては、対象となる方の申請に基づき、指定の口座に振込支給する形を想定しており、申請の際には、確認書類として運転経歴証明書の写しを添付していただくことを想定しています。  民間路線バスのルート変更につきましては、あくまで民間事業者の経営判断によるものですが、地域住民の方からの声として国際興業株式会社へお伝えしてまいります。</p>	○

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
9	<p>ふれあい号</p> <p>①ふれあい号の廃止について事前に利用者からヒアリング等は十分に行ったのか。行ったとしたらその回数・規模・やり方、ヒアリングの結果を公表していただきたい。</p> <p>②ふれあい号の廃止について利用者が減っているからというが、コロナ禍全盛の令和3年に1週間調査しただけだと市は説明会で言っていた。一方説明会では実際の利用者の方たちからは廃止しないで欲しいとのとでも強い要望も出ており、市と市民の間に強い温度差が感じられた。本当に廃止が妥当だと言えるほど利用者が減っているのか、政府がコロナ分類を5類に移行した後令和5年現在のデータを調べて公表すべきである。</p> <p>③市は説明会ではコロナの影響を除いてもふれあい号の利用者は全盛期より大幅に減っていると言っていたが、志木市では高齢者人口自体は増えていると聞く。福祉施設限定の無料交通手段であるふれあい号の利用者が減るとしたらその理由は何か。市の福祉施設そのものに魅力がないなどの問題があるのではないかな？</p> <p>④ふれあい号の代替としてデマンド交通の拡充と言うが、そもそも無料交通手段の代替が有料交通手段というのはおかしい。代替ではなく単なる有料化である（自宅送迎のメリットはあるにしても有料化であることにはかわりない）。どうしてもふれあい号を廃止するというのであればデマンド交通の無料券配布などの福祉政策を考えるべきである。</p>	<p>①②ふれあい号の見直しにあたっては、過去からの利用者数の実績や市職員が実際にふれあい号に乗りして実施した利用者の乗降状況の調査などの実態を踏まえて、検討してきたものであります。まず、ふれあい号の利用者数につきましては、平成26年度では年間約34,000人であったのに対して、コロナ禍であった令和2年度はおよそ年間約8,000人まで大幅に減少しました。その後、徐々に利用者数は回復し、直近の令和4年度では年間約17,000人まで回復しましたが、過去9年間の全体の推移からみると、利用者数はほぼ半減している状況から、平成26年度当時の利用者数まで戻らないことが想定されます。また、令和3年度に実施したバス停ごとの利用者の乗降状況の調査や運行に係る燃料費の高騰、人件費などの費用が増大している状況も鑑みると、ふれあい号は廃止せざるを得ないという結論に至りました。</p> <p>なお、ふれあい号の利用者の推移につきましては、市ホームページにて公開してまいります。</p> <p>③ふれあい号利用者の減少理由につきましては、デマンド交通等の交通手段と比べて、バス停まで出向き待たねばならないこと、バスの到着時刻や発車時刻が決められていることから、利用者の時間が制約されることなどが考えられます。</p> <p>④デマンド交通拡充の主な目的は、長い距離を移動する際に利用料金が高くなるという課題に対して、利用しやすい料金形態へ見直しを行うことで負担軽減を図り、より多くの方に利用していただくものです。限られた財源の中で、事業を持続可能なものとするためには、一定の利用料金をご負担いただくことにはなりますが、利用者の負担の軽減につながるよう、利用料金の見直しをしてまいります。また、福祉のニーズは多様化しており、交通施策だけにとらわれることなく、他の福祉施策を広く充実することで、全体的な市民サービスの向上につなげてまいります。</p>	○

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
10	<p>ふれあい号の廃止について反対です。現在、子どもを連れて支援センター「ぼけっ」とに行く際に使用しており、廃止されることで同センターへ通う手段がなくなるためです。</p> <p>今回、ふれあい号の廃止について検討されているようですが主な理由はどちらでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の減少</li> <li>・維持費の高騰</li> </ul> <p>前者であれば、廃止ではなく利用者増加のための案を出すのが筋かと思います。現在、ふれあい号の認知度はどの程度なのでしょう。</p> <p>私の周りでも知っている人が少ないですが、これは市が積極的にアピールしていないことが問題なのでは？と考えています。広報でも、ふれあい号に関する記事を拝見したことがなく「利用者が減少」ではなく「利用できること、そもそも存在することを知らない人が多い」ことが問題なのではないでしょうか。</p> <p>また、ふれあい号の利便性にも疑問を感じます。現在、利用する場合は「乗車」「降車」のどちらかが「公共施設」ではないといけないルールがあるかと思っています。ふれあい号開始当初からのルールなのかと思いますが、このルールが利用者減少の一因と考えられるのでは？と思います。ルート上のバス停がない場所で自由に乗り降り出来るようにするのは、運行上難しいとは思いますがバス停のある場所であればどこでも乗り降り自由にする事で、利用者増加を図ることが出来るのでは？と考えます。</p> <p>長文となりましたが、ふれあい号の廃止理由が「利用者減少」であれば、上記のような策を講ずることで利用者増加を見込み、継続運行を検討出来ないか議論をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、後者の場合は予算等の兼ね合いから継続に向けての提案は難しいため割愛させていただきます。</p>	<p>ふれあい号につきましては、利用者の減少及び運行に係る費用の増大の両方の理由から廃止することとしたところであります。</p> <p>ふれあい号の利用者数につきましては、平成26年度では年間約34,000人であったのに対して、コロナ禍であった令和2年度はおよそ年間約8,000人まで大幅に減少しました。その後、徐々に利用者数は回復し、直近の令和4年度では年間約17,000人まで回復しましたが、過去9年間の全体の推移からみると、利用者数はほぼ半減している状況から、平成26年度当時の利用者数まで戻らないことが想定されます。また、令和3年度に実施したバス停ごとの利用者の乗降状況の調査や運行に係る燃料費の高騰、人件費などの費用が増大している状況も鑑みると、ふれあい号は廃止せざるを得ないという結論に至りました。</p> <p>なお、ふれあい号は、特定の施設を利用される方の運送に限定することを条件に運行が国から許可されているものであり、運行形態を変更する場合は、新たな許可を取得する必要があります。</p> <p>しかしながら、特定の施設の利用に限定しない運行形態に変更することは、民間バス事業者の経営を圧迫し、既存のバス路線の減便・撤退につながるおそれがあることから、困難であると判断したところであります。</p>	○
11	<p>利用者が少ないのは、乗降の場所がきめられていた為と思われる。又「コロナ」で施設の利用人数がきめられ自由に使えなかった為もあります。私の希望としてふれあい号は利用したいので残してほしいです。</p> <p>他市のコミュニティバスのようなやり方が年度払込金かカードで有料とし、今迄の停留場で乗降を自由として廻ってほしいです。外出すれば要介護も減らせると思います。</p>	<p>ふれあい号のルートを維持したまま有料のコミュニティバスを導入する検討も行いましたが、その場合は新たに国の運行許可を取得する必要があり、既存路線バスを運行するバス事業者との協議が必要となります。この際、民間路線と競合しないように配慮した路線を設定することが必要となりますが、現在のふれあい号のルートは既存路線バスと競合するおそれがあり、実施した場合は既存路線バスの減便や廃止につながりかねないといった課題があることから、有料のコミュニティバスの導入は困難な状況です。</p>	○

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
12	<p>ふれあい号廃止の理由が利用者数の減少との事ですが、乗る人はかなりいるという印象はありますし、私なりに調べましたところ朝霞市では福祉センターバスを1日1便で運行しているようです。とても参考になると思います。</p> <p>代わりにデマンド交通を使えとの事ですが交通費がかかるとなるととても生活に負担がかかります。</p> <p>元気な人ばかりではありません。弱者切りすてです。</p> <p>第二福祉センターに出でいかれなくなったらひきこもりになるのは確実です。</p>	<p>ふれあい号の利用者数につきましては、平成26年度では年間約34,000人であったのに対して、コロナ禍であった令和2年度はおよそ年間約8,000人まで大幅に減少しました。その後、徐々に利用者数は回復し、直近の令和4年度では年間約17,000人まで回復しましたが、過去9年間の全体の推移からみると、利用者数はほぼ半減している状況から、平成26年度当時の利用者数まで戻らないことが想定されます。また、令和3年度に実施したバス停ごとの利用者の乗降状況の調査や運行に係る燃料費の高騰、人件費などの費用が増大している状況も鑑みると、ふれあい号は廃止せざるを得ないという結論に至りました。</p> <p>一方で、ふれあい号廃止に伴う代替事業につきましては、あらゆる方策について検討を重ねた結果、近年の高齢化率、要介護認定率とも上昇する現在においては、バス停まで歩き、バスに乗ることも困難な高齢者の方も増加することが予想されることから、自宅から病院などの目的地まで、ドアtoドアで行くことができるデマンド交通が、最も使いやすい交通手段であると判断したところであります。限られた財源の中で、事業を持続可能なものとするためには、一定の利用料金をご負担いただくことにはなりますが、利用者の負担の軽減につながるよう、利用料金の見直しをまいります。</p>	○

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
13	<p>既に議会で可決されてしまったことを、今更言ったところで覆るわけがない。団塊の世代に生まれた方々が、これから高齢者へと迎えることを解っているはずなのに、もう少し長い目で見守るべきであった。</p> <p>①いまや、いずれの自治体も福祉事業は大幅な赤字を抱えています。それを上手に対処していくことが、賢明な職員の手腕にかかっておるのです。</p> <p>②ふれあいバス問題は交通政策だけの問題ではなく、この場合、福祉政策のひとつでもあります。安易に片付ける事案ではないと思います。</p> <p>③市長公室政策推進課は、コロナ禍攪拌予防のため国をあげての対策で、外出自粛・世相はあらゆる行事の中止と、経済社会は最悪の状況にあった。にもかかわらず政策推進課は、その期間の数値を用いて、政策判断を下したことには賛成できません。</p> <p>④先の説明会で、市側は繰り返しデマンドタクシーの利用を勧めておられましたが、それは安易なことと思います。福祉センターを利用している方々には、裕福な人はいりません。年金・貯えも少なくぎりぎりの生活をしています。静かに観察して、おそらく胸を苦しめられることでしょう。1箇のおにぎりを半分に、1袋の玉子サンドイッチを3ツに菓子パンを半分に分け合って食べ、時には頂いた半分を夕べの食事にするため持ち帰るといふ人に語れぬ暮らしをしているのです。そうした高齢者たちがいることを認識していれば、ふれあいバスの廃止の提案などできるはずがないでありましょう。そうした階層が多くおられることを知らぬのか。とてもデマンド・タクシーの使用は「夢のまた夢」なのです。</p> <p>⑤ふれあいバス運行の実態についてお話します。相当の遅れは当たり前、なぜか45分遅れの時もある（遅れの説明もない。）そんな訳で催しに遅れ事業会社のバスに変更しました。また第二福祉センターの時では歩いて行っている。そんなことでありまして「ふれあいバス」乗車が少なくなったことも原因のひとつでしょう…？</p> <p>⑥福祉センターは私たち高齢者にとって、なくてはならない「心の船着場」なのであります。悩み、苦しみ、困りごと、不安の解消にお互いに吐き出す唯一の寄り処であります。ふれあいバスはぜひとも必要な交通機関で残しておいてほしかったです。</p> <p>⑦集会では「意見公募」で意見を出してくださいと何度もおっしゃっていたが、これらの意見を集約して終止を打たれたのだと思います。</p>	<p>ふれあい号の利用者数につきましては、平成26年度では年間約34,000人であったのに対して、コロナ禍であった令和2年度はおよそ年間約8,000人まで大幅に減少しました。その後、徐々に利用者数は回復し、直近の令和4年度では年間約17,000人まで回復しましたが、過去9年間の全体の推移からみると、利用者数はほぼ半減している状況から、平成26年度当時の利用者数まで戻らないことが想定されます。また、令和3年度に実施したバス停ごとの利用者の乗降状況の調査や運行に係る燃料費の高騰、人件費などの費用が増大している状況も鑑みると、ふれあい号は廃止せざるを得ないという結論に至りました。</p> <p>一方で、ふれあい号廃止に伴う代替事業につきましては、あらゆる方策について検討を重ねた結果、近年の高齢化率、要介護認定率とも上昇する現在においては、バス停まで歩き、バスに乗ることも困難な高齢者の方も増加することが予想されることから、自宅から病院などの目的地まで、ドアtoドアで行くことができるデマンド交通が、最も使いやすい交通手段であると判断したところであります。限られた財源の中では、事業を持続可能なものとするためには、一定の利用料金をご負担いただくことにはなりますが、利用者の負担の軽減につながるよう、利用料金の見直しをしております。</p> <p>なお、今回の素案につきましては、あくまで政策の方針をお示ししたものであり、議会で議決されたものではありません。</p>	○

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
14	<p>民間路線バス事業</p> <p>志木駅に出るのにも、また柳瀬川駅前にある病院へ通院するのにも、志04系統のバスを使っていたので、「これからどうしよう…」と途方に暮れるような気持ちです。雨の日や真夏の35度以上ある日はバスが頼みでした。志木駅と柳瀬川駅をつなぐ路線は、時間によっては利用者は少ないかもしれないけれど確実に需要があったと思うので、昼間の時間帯、午後14時や15時あたりの便が少しでも復活してくれたら、とてもありがたいです。</p>	<p>志04系統及び志04-2系統の廃止の理由につきましては、運行主体である国際興業株式会社より「現行の小型車両の製造中止等に伴い代替車種による運行を検討したが、同系統のルート上にある狭隘な道路や交差点を安全に運行できる代替車種がないとして、やむを得ず廃止とする判断に至った」との報告を受けたものであります。市としても当該報告を受け、継続の要望や代替手段の検討や協議を同社と重ねてきたところですが、安全な運行を確保できるバス車両がなく、運行の継続はできないとの回答をいただいているところです。</p> <p>なお、志04-3系統の運行時間の拡大や増便等につきましては、沿線住民の皆様の切実な思いとして受け止め、引き続き運行主体である国際興業株式会社へ要望してまいります。</p>	
15	<p>民間路線バス事業</p> <p>志木駅東口～志木の杜間において、運行の継続および平日日中、土・休日の増便をお願いします。</p> <p>①マンションにとって、高齢者の需要があり、予約の必要で制限のあるデマンド交通では賄いきれない。近隣の方にとっても同様と思われる。定時運行は大変有難い。</p> <p>②家族で利用できる。特に市外の住む家族や来訪者の利用で分かりやすく重宝している。</p> <p>③土・休日の志木の杜→志木駅東口は立っている人でいっぱい便が足りないと感じる。</p> <p>④平日・朝柏発6：30志木の杜発土・休日の13時台又は14時台の増便があると良いと感じる。</p> <p>⑤ルートの的に志木の杜からいなげやを回りこんで志木駅東口に戻る巡回コースをつくるのが可能。志04-03は平日朝、当該巡回コースは平日日中・夕・夜・土・休日という形で運用いただけないか。運行の利便性が上がり、増便も可能ではないか。</p>		○

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
16	<p>民間路線バス事業</p> <p>高齢の母と出掛ける時、志木駅から帰る時、大変助かっていました。母はシルバーカーを押しながら少し歩いて座って休むを何度も繰り返す状態なので、市場坂上のバス停まで歩くとか、そこから家に歩くというのはとても苦しそうでした。私や主人も年も取ります。本数は少なくとも、あるのと無いのでは全然違います。むしろ本数が増えて欲しいなあと思っている位なので、無くなっては困ります。本数が少ないので暑くても日なたでバスを待っている私達のためにも無くさないで下さい。娘が来た時も「乗る人が多いのに何で少ないの?」と言っていましたし、土日の志木の杜18:10が最終というのは早すぎます。もっと増やして下さい。お願いします。</p>		
17・18	<p>民間路線バス事業</p> <p>現行の路線バス志04-3の存続と、志04および04-2の廃止による志木の杜バス停を經由するバスの減便に対する補強（志木04-3の増便）をお願いいたします。</p> <p>廃線となると、志木の杜住民の生活に大きく影響します。市場坂上のバス停が今以上に混雑することになること、マンションの資産価値が下がること、など多くの懸念があります。</p> <p>※（同じ内容の意見が2件あり）</p>		

No.	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
19	<p>民間路線バス事業</p> <p>・第二福祉センター利用 センター利用させてもらってから8年位毎日です。 センターのお休みは年2回なんです。 日曜日、祝日も営業しています、節約節約をしながら誰も居ないのに営業電気は使いクーラーも使いテレビも二人の勤務して給料もやらないやならないととっても無駄だと思つねに思っています。よその施設はどうなっているかわかりませんが月～土の営業でいいと思っています。 ふれあいバス、国際バスもなくなり、年も重なり病院に行くのもバスが使えなくなるのはとっても困ります。 どうか何とか良い方法で国際バスだけでも残して下さるようお願いいたします。8月31日までの期限でしたら日曜日も様子を見て下さい。どうかお願いいたします。 追伸 機械室も使った人は電気クーラーつけっぱなしで帰っています。もったいない使い方しています。</p>	<p>志04系統及び志04-2系統の廃止の理由につきましては、運行主体である国際興業株式会社より「現行の小型車両の製造中止等に伴い代替車種による運行を検討したが、同系統のルート上にある狭隘な道路や交差点を安全に運行できる代替車種がないとして、やむを得ず廃止とする判断に至った」との報告を受けたものであります。市としても当該報告を受け、継続の要望や代替手段の検討や協議を同社と重ねてきたところですが、安全な運行を確保できるバス車両がなく、運行の継続はできないとの回答をいただいているところです。 なお、志04-3系統の運行時間の拡大や増便等につきましては、沿線住民の皆様の切実な思いとして受け止め、引き続き運行主体である国際興業株式会社へ要望してまいります。 なお、第二福祉センターの部屋の使い方につきましては、ご指摘のとおり利用者による片付け、原状復帰が原則ですので、これを徹底するよう改めて施設の指定管理者である志木市社会福祉協議会に申し入れを行いました。</p>	○
20	<p>民間路線バス事業</p> <p>志04系統を利用しています。 月～金…通勤のため志木駅東口まで利用 土・日…買い物その他のため志木駅東口等まで利用 ※歩行杖を利用することがほとんどなので、雨、風、台風、猛暑日にはバスがないととても不便です。 希望（案） ・令和6年度以降も04系統の運行継続 ・コミュニティバスの再検討 二酸化炭素の排出削減のためにも、今後は自家用車所有から公共交通機関利用へと移行する必要があるわけですが、市は率先してこれに取り組むべきだと思います。 （また、運転手不足はこれからも続くわけですから、民間業者のみ頼るのは無理だと思います。） ・代案…志04-3を第二福祉センター前まで延長していただくのも助かります。 よろしくお願いいたします。</p>	<p>志04系統及び志04-2系統の廃止の理由につきましては、運行主体である国際興業株式会社より「現行の小型車両の製造中止等に伴い代替車種による運行を検討したが、同系統のルート上にある狭隘な道路や交差点を安全に運行できる代替車種がないとして、やむを得ず廃止とする判断に至った」との報告を受けたものであります。市としても当該報告を受け、継続の要望や代替手段の検討や協議を同社と重ねてきたところですが、安全な運行を確保できるバス車両がなく、運行の継続はできないとの回答をいただいているところです。 なお、志04-3系統の運行時間の拡大や増便等につきましては、沿線住民の皆様の切実な思いとして受け止め、引き続き運行主体である国際興業株式会社へ要望してまいります。 また、コミュニティバスを導入する場合は新たに国の運行許可を得る必要があります。既存路線バスを運行するバス事業者との協議が必要となります。この際、民間路線と競合しないように配慮した路線を設定することが必要となりますが、市域が狭い本市では既存路線バスと競合するおそれがあり、実施した場合は既存路線バスの減便や廃止につながりかねないといった課題があることから、有料のコミュニティバスの導入は困難な状況です。</p>	○